

令和5年度各会計決算
に対する各会派等の意見表
(要旨)

自民党豊島区議団

令和5年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

物価高騰対策や区独自の子育て世帯支援など機動的に対応。基金残高は前年度比増、特別区債は前年度比減と財政の健全性を更に高めることができた。

個別に意見を述べる。災害における自助・共助・公助それぞれの強化を。高齢者に配慮したスピード感のあるDX推進を。看護師会との連携で利用しやすい新保健所の設置を。区民活動補助金は必要な事業には確実に補助を。建築物等耐震化助成の上乗せの検討を。地域の声に耳を傾け、池袋本町の防災まちづくりの更なる推進を。池袋副都心交通戦略は様々な観点からの検討を。子どもからお年寄りまで楽しめる公園整備を。空き店舗活用のため伴走型支援の継続を。移動教室や校外学習の充実を。地方との交流を推進し、区の魅力を全国に発信できる体制づくりを。児童相談所の丁寧な運営で子どもが安心して生活できる環境整備を。滞納者の生活実態を踏まえた適切な対応で着実な国保料収納対策を。

物価高騰など本区を取り巻く環境が不透明さを増す中、区の輝かしい将来像を着実に実現できるよう引き続き計画的な財政運営に努めることを要望する。

公明党

令和5年度一般会計、3特別会計決算の認定に賛成。以下は、事業別意見と要望。

●投票所では、障がい者・高齢者等へ丁寧な投票支援を●平和記念式典には、毎年中学生の派遣を●災害時要援護者には、家具転倒防止策の実施を●若年女性の多様な居場所存続と生理用品無償配布場所拡充を。

●産後ケア事業宿泊型は利用日数、通所型は利用施設の拡充を●アピアランスケアは、「エビテ1ゼ」への補助導入を●「グリーンフケア」の周知やホームページでの丁寧な説明を●歯周病検診におけるヤング世代の更なる年齢拡大を●災害時生活必需品(口腔衛生) 備蓄にキシリトールガム追加を●断らない相談窓口事業の充実により地域共生社会の構築を。

●路上喫煙禁止・ポイ捨て防止事業は、新たな喫煙場所の指定や管理の効率化を●高松地区浸水対策の進捗状況を地域に対して丁寧に説明を●大家さんと要配慮者の双方が安心できる住宅環境の整備を。

●自閉症・情緒障害特別支援学級の増設を●小1の壁対策として早期預かり・帰宅時見送りの早期実施を●日本語指導は、より一層の体制強化を。

●ボランティア団体による日本語教室は、受入れ枠の拡大を。

立憲・れいわ

令和5年度一般会計並びに3特別会計決算の認定に賛成。審査に当たっては、安定的で持続性のある財政が、目的が妥当でどれだけ実績を出せたか、区民の声が反映された施策かの3つの視点に立ち審査に臨んだ。

事業ごとに要望を述べる。救済センター等備蓄関係事業では、新たにおりものシートの備蓄を。歯や口腔の健康チェックは虐待や生活困窮の孤立等を疑う指標になるため、横断的な地域医療の充実を。食品ロス削減推進事業では、食べきり協力店の登録及び普及啓発について目標を定め、積極的に増やす取組を。子育て世帯見守り訪問事業については、必要な家庭全てが利用できるように土日休日夜間の対応と、時間指定で予約できる仕組みを。また、区民の知る権利を保障する情報公開制度は、区民に対して積極的な情報開示、透明性が必須であることを再度提言する。非課税世帯への給付金、物価高騰への対策、子育て世帯見守り訪問や給食費無償化などの区独自の子育て世帯への支援等、区民の生活支援に取り組んだ決算と評価。一方、長いスパンでは不確実な要素が散見される。「既存事業の集中的な見直しに全庁上げて取り組む」と区は明言をしているので、注視して次の審査に臨む。

都民ファーストの会・国民

令和5年度一般会計・3特別会計決算の認定に賛成。区民生活を支えるための臨機応変な財政出動を行いつつも、財政の健全性を堅持した決算と評価する。

以下、個別意見と要望。行政手続きのオンライン化では区民の負担を減らすようメニューの充実を。繁華街のパトロールなど引き続きの対策を。防災対策では未整備の資機材を早急に配備するとともにマンホールトイレ等災害への備えの充実を。町会活動のデジタル化、町会掲示板支援への拡充を。障害の種類にかかわらず支援が行き渡るような施策の展開を。小児・AYA世代のがん患者への支援の拡充を。商店街内の道路整備を通じた賑わい創出への後押しを。大塚駅周辺整備は地域と連携した対策を。無電柱化については、地域への情報共有に努めるとともに着実な整備を。教員が本来業務に集中でき、子どもたちと向き合う時間を増やすよう働き方改革を。地域と共にある学校にはコミュニティ・スクールの導入、コデイネーター設置の推進を。不合理な税制改革について、国へ改善を強く求める。3特別会計については、持続可能な制度として存続できるように取組を。歳出の見直しを含めた対策を行い、持続可能な財政運営が行われることを望む。

日本共産党

2023年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対する。

第一に区民生活を守り、需要を満たすために全力を尽くす執行を進めていない。①防災対策について避難場所の確保が不十分。②物価高騰で、暮らしが深刻。生活保護利用者への法外援助の拡充を求めも拒否。③区営住宅等の新規建設はしない。「安心住まい提供」事業も拡充しない。④中小企業・中小業者への家賃や固定費の直接支援もない。⑤西栗鴨地域への特養ホーム建設は大幅に遅れ、見通しもない区の責任は重大。⑥介護事業所の実態調査実施と具体的な処遇改善もない。⑦障がい者施設の職員確保に区独自の支援策もない。⑧私立保育園の減収補助を年度末まで支給しない。⑨教育の私費負担軽減を求めても拒否するなど、認められない。第二に区民にとって不要、不急の事業を進めている。東池袋一丁目地区と南池袋二丁目C地区の2地区だけでも685億円の税金を投入し、住民を追い出す市街地再開発事業は見直すべき。イケバスに多額の税金を投入するのではなく区民の要望に応えるのではなく区民の要望に区民健康保険料負担が大きい国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計も認められない。

維新・無所属

令和5年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定について、審査により概ね賛成。徹底した行政のスリム化、効率的な公共サービスの提供、未来への投資というテーマ、来年度の予算編成につながる決算審査という観点で質疑を行った。

款別には、選挙時の公営掲示板はコスト・環境面での工夫を。セーフコミュニティは、認証活動の継続は止めて、これまでのノウハウを生かした活動を。認知症の行方不明者に対してできる限りの対応を。妊娠子育て支援事業は、今後も子育て世代に寄り添い、選ばれる自治体となる施策の展開を期待。計画通り清掃工場の建替えを進めることを希望。自転車ヘルメット普及啓発事業は、更なる施策の展開を。区道整備事業は区民の利益に繋がる整備を。三芳グラウンドは、売却も含め今後の在り方の検討を。学校の授業以外にも地域社会での体験を重視した教育の機会を増やす工夫を。としま未来文化財団の大改革を成し遂げることを期待。池袋西口公園野外劇場大型ビジョン広告料の収益向上を期待。国民健康保険事業会計では無駄の削減で安定的な運営が可能となることを要望。時代のニーズに合った必要区民サービスの更なる向上が図られる区政を期待する。